#### まえがき

イギリス人の個人主義はこれまで数々の"世界初"という独創性へとつながってき ましたが、実はこれは"アングロサクソン系独特のいい加減さ"と紙一重ではないか と思います。いい加減さや大雑把、大らかさというとラテン系民族を思い浮かべる人 も多いかもしれませんが、イギリス人の"いい加減さ"は"好奇心本位"と表裏一体 であり、それは既存のシステムや価値観の分解、再編成、相対化という点で強烈に生 かされています。「英語」や「政治」も昔は複雑なシステムでしたが、イギリス人に よってシンプルで分かり易いものになりました。きめ細かいサービス精神は苦手かも しれませんが、イノベーションにかけては他の追随を許さないものがあるようです。

独創性ということについては、日本人とフランス人とイギリス人がパーティーに招 待される例を考えてみるとわかりやすいかもしれません。一概には言えませんが、何 を着ていくかについて、おそらく日本人なら友人と相談して「じゃあ私もそれにする わ」と言うでしょう。フランス人なら「じゃあ私はこれにする」となるでしょう。で はイギリス人は? 多分彼らは探り合いや相談という概念は持ち合わせておらず、 「マイペース」なのです。面白いことに、結婚式でもジーンズやパンク風、さらには 仮装大会の参加者のような人がいるのです(本当です)。

次に、まずいと言われて気の毒なイギリス料理に注目してみましょう。グルメブームの昨今、料理の味付けはコックに任せきりですが、イギリス人にとって味付けは自分自身でするもの。何気なく食卓の上にある塩やコショウに酢たち。味が薄ければ自分の好きな味にして食べなさいということです。粗食の美学と言ったら大げさでしょうか。またイギリス人は家や家具、車などの修理が大好きです。何でも専門家に任せれば手間もかかりませんが、それと引き換えに自分で何もできなくなってしまうのを彼らは好みません。ケチで頑固で不便を好むと言われているイギリス人ですが、豊かさに溺れない強さをそこに感じることがあります。

エッセイの達人であるベルトン氏による書下ろしと、それを補うNOTESと解説、そ してバラエティーに富んだ練習問題を通じて、皆さんがイギリスに少しでも寄り添う 気持ちになっていただければこの上ない喜びです。アメリカ中心で世界が語られるこ とが多い時代だからこそ、ここで一度イギリス独特のペースに巻き込まれてみません か?

最後になりましたが、このテキストの作成にあたり、多くのご教示をしていただい た編集の犬山氏に心より感謝いたします。

#### 著 者

# **Contents**

### I. Society and Systems

- 1. The Euro—Yes or No? / 2
- 2. Education in Britain / 5
- 3. The Shadow Cabinet and Floating Voters / 8
- 4. Household Waste and Recycling / 11
- 5. Social Classes / 14

### **II**. Life and Culture

- 6. Embarrassment British Style / 17
- 7. Humour in Great Britain / 20
- 8. The British Climate / 23
- 9. British Gentlemen / 26
- 10. Eccentric Britain / 29
- 11. Immigration / 32
- 12. The Royal Family / 35

#### **III**. Work and Recreation

- 13. Industrial Devolution? / 38
- 14. Sport and Gambling / 41
- 15. Warm Beer and the English Pub / 44
- 16. The Arts in Education / 47

## The Euro—Yes or No?

On January 1st, 2002, twelve European countries adopted the Euro as their official currency. This single act is seen as being an important step in bringing Europe closer together than at any time in

<sup>5</sup> history. However, not every country in the European Union went ahead with the general use of the Euro. Denmark, Sweden and Great Britain decided to remain with their original currencies. The reasons for this differ from country to country, but in



写真提供:**©Reuters** 

<sup>10</sup> general the people of each of these nations thought that it was too early to be so closely tied to the rest of Europe.

Resistance against the use of the Euro was particularly strong in Great Britain. The British public felt that the government was making promises in Europe without them being consulted. British people have a tendency to be very vocal when they believe the

<sup>15</sup> government is working for self-serving policies instead of for the benefit of its citizens. They feel that the main role of the government is to protect their interests, not to force unpopular laws into being without examining the opinions of the public in national referendums.

- Public opinion was so strong that the government finally decided not to adopt the <sup>20</sup> Euro at the same time as the rest of Europe. But the story does not end there. There is still a lot of pressure for Britain to join the twelve countries that are already using the Euro, and the government is currently considering holding a referendum to gauge public opinion. However, the British public is expected to go against the decision. Unofficial polls have indicated that approximately 63% of voters are against adopting
- <sup>25</sup> the Euro. This, of course, will leave the government with the decision to either alienate Britain's European partners by scrapping the idea, or ignore the British public and force the Euro into use.

So why are the people of Britain so determined to remain isolated in Europe? Basically, it comes down to pride. The British love to be thought of as unique, and <sup>30</sup> simply being the member of a group holds no interest for them. They also feel that losing the traditional pound note will rob them of their identity. As for the British opinion of the rest of Europe, Sir Winston Churchill said it all: "... with Europe, but not of it. We are linked but not combined. We are interested and associated, but not absorbed."

Throughout this book, I have concentrated on emphasizing the way British people think in order to enhance your knowledge of the British mentality. Use it well to enhance not only your language skills, but also to receive a direct line into the British mind. (443 words)



currency:通貨,([不可算]流通:circulation) general: 一般的な, 広範囲の, 普遍性のある (⇔ particular: 個別の) people: 圧倒的な数を占める、どちらかといえば「一般大衆」(cf. citizen) nation:行政単位の「国」 too:「あまりにも~」という訳語にとらわれ過ぎずに考えるとよい。本来は「適切さの欠如」であり、「断 り、警告、言い訳、ためらい」などのニュアンスを表現します。 例を挙げると、誘いを断る時に、"I'm too tired..."「疲れているので...(=やめておきます)」と言った り、テニスがとても上手い人を見て"He is too good..."「彼って上手すぎる…(=張り合うのはやめて おこう)」ということを示すなど、日常的に用いられることが多い。 vocal:やかましく主張する citizen: 国籍·市民権をもつ人々(⇔ alien) referendum:国民投票 gauge:評価·判断する expect:(「当然~となる」という意味で、良い場合でも悪い場合でも)期待する alienate: ~を疎遠にする、遠ざける unique:他に類をみない、この世に二つとない、独自の \*絶対形容詞とよばれ、very や most で修飾されず、また比較級の活用もありません。「彼はユニークな 考え方をする」は He has a different way of thinking from others. と表現するのがいいでしょう。 of:「起源・出所」が原義。はじめから何かと一体化していることを前提とする「分離」を表現する前置詞。

知っておこう -

【ユーロ】 欧州連合EU25ヶ国のうち,12カ国が参加している通貨単位。7種類の紙幣と8種類の 硬貨が流通しています。特に硬貨は片面に各国共通のデザインが描かれ、もう片面には 各国独自のデザインが施されています。他の国に行くたびに通貨を変えて手数料を取ら れる手間が省け、とても便利です。ユーロ圏内の貿易も活発になり、食料品や車など各 国で違っていた物価の格差が縮まることが期待されています。ユーロの記号は、アルフ ァベットのCに二本の平行線(安定性のイメージ)が引かれた特徴的なものになってい ます。これは、"Europe"の頭文字Eを想起させ、ギリシア文字のイプシロンからヒン トを得たものです。

【イギリス人の感情】 おそらく殆どのイギリス人が,自分はヨーロッパ人であるというような意識を 持ち合わせていないと思われます。昔から海洋国家であるという意識が強く,ヨーロッ パ大陸だけと深い関係を持つよりは海を通じて全世界との関係を強化する「名誉の孤立」 を選択する傾向があります。「欧州強化は各国がそれぞれに習慣や伝統,アイデンティ ティーを守ってこそ実現するもの」というサッチャー前首相の言葉が象徴的にそれを表 しています。

> また,大陸ヨーロッパで公平感のある競争原理が成立しないとユーロの価値が認めら れず,ユーロ安になってしまうという懸念があるようです。イギリス経済を強くしてお くためには,統合しない方がいいという方針をイギリス政府はいままで保ってきました。 一方で,首相となったブレアはユーロ導入にそれほど反対していません。揺れるイギリ ス人の気持ちをここに見ることが出来ます。

## Exercises

**1** DICTATION: Fill in the blanks with the words you hear.

- 1. British people become displeased if they think the \_\_\_\_\_\_ is making important decisions without asking their \_\_\_\_\_\_.
- 2. It is \_\_\_\_\_\_ that more than sixty percent of voters are against \_\_\_\_\_\_ the Euro.

**2** MULTIPLE CHOICES: Choose the best answer to each question.

- Which members of the European Union did not adopt the Euro on January 1st, 2002?
  a. Twelve European nations.
  - **b.** Denmark, Sweden and Great Britain.
  - **c.** Three members of the European Union.
- 2. What do British people feel the main role of the government is?
  - **a.** To force through unpopular laws while examining public opinion.
  - b. To work for self-serving policies while protecting public interest.
  - c. To protect public interest while working for the benefit of the people.
- 3. Why are British people so determined to remain separated from Europe?
  - **a.** Because the Euro makes them feel proud.
  - **b.** Because they prefer to hold onto the traditions that makes them feel unique and proud.
  - **c.** Because being a member of a group holds more interest than individuality.

#### **3** OUTLINE: Fill in the blanks with the appropriate words.

▶イギリスの通貨についての文章を読みながら,空所に適する英語,または記号を入れてみましょう。

イギリスの通貨単位は,<u>ポンド(①)</u>です。この通貨の記号は,頭文字のPではな く,<u>(②)</u>です。その起源は紀元前古代ローマ時代の「ポンドゥス」で、もともとは銀の価 値を「重さ」(ラテン語の「リブラ」)で表していたことに由来します。現在、4種類の紙幣(50, 20,10,5ポンド)と8種類の硬貨が主に流通しています。硬貨には、2及び1ポンド、50,20, 10,5、2ペンス(③),1ペニーがあります。全ての紙幣と硬貨の表面に<u>エリザベス2</u> <u>世(④)</u>の肖像が描かれています。

2ペンスと1<u>ペニー(⑤)</u>はよく小売店で釣銭として出され、また自動販売機で使用できないため、油断するとどんどんたまっていきます。20ペンスコインは旧式の自動販売機や parking meterの受付単位にもなっていることが多く、運転手がよく持っている硬貨です。また、店で20ポンド札を出すとよく店員さんが札を電灯で透かして見ます。これは、多くの<u>偽造紙幣(⑥)</u>が出回っていることを表しています。



4 I . Society and Systems